

史跡・名勝 **飛鳥京跡苑池** 第7次調査
(飛鳥京跡第173次調査)





飛鳥時代の苑池と宮殿・寺院



苑池と今回の調査区 (S=1/3,000)

1/1,000「史跡・名勝 飛鳥京跡苑地」

石造物の三次元画像が見られます

1. アプリ「junaio」(無料)をスマートフォンまたは、タブレット PC にインストールしてください。
2. 「junaio」を起動し、画面右上の「scan」アイコンをタップして、画面を下にあるQRコードにかざします。
3. 認識後、画面を右上の写真「苑池東半全景」にかざすと三次元画像が浮かび上がります。
4. 使用期間:平成24年12月8日～21日



流水施設第1石



石槽



今回の調査区の航空写真 (上が北)



南池南岸と石造物の配列イメージ (北西から)



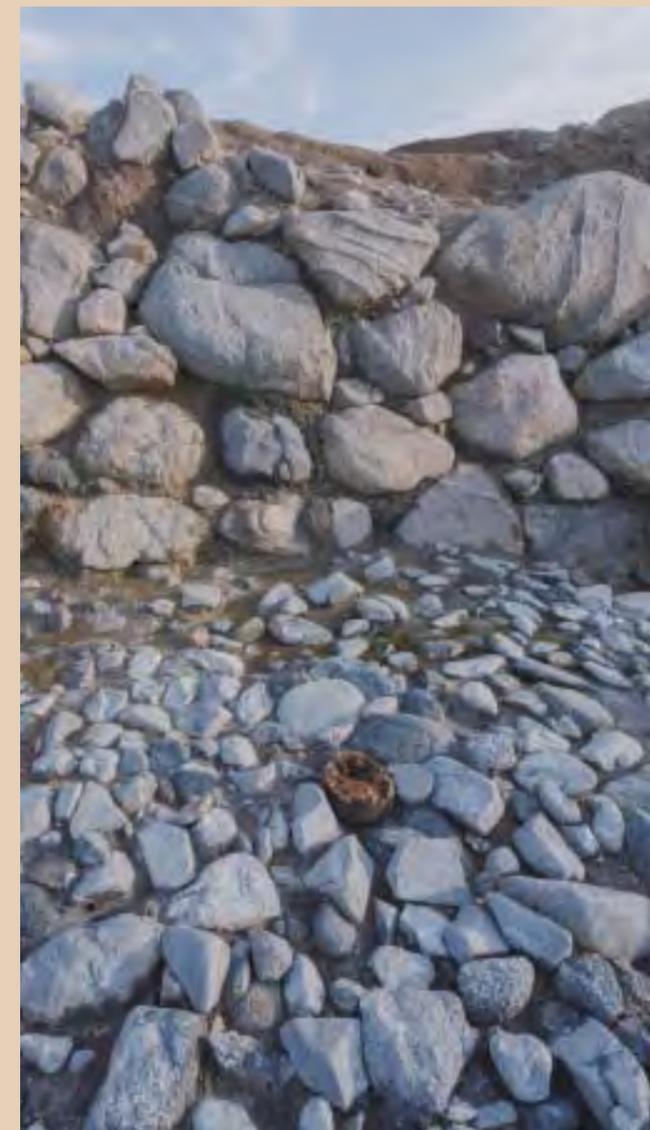
南池東半全景 (北東から)



東岸と底石の段構造 (北から)



石組暗渠 (北から)



東岸と底石部分に据え付けられた柱 (西から)

はじめに

史跡・名勝飛鳥京跡苑池は、奈良県高市郡明日香村岡に所在する飛鳥時代の庭園遺跡です。1999年の第1次調査からこれまで6回にわたる調査をおこない、以下のことを明らかにしました。

- ① 苑池には渡堤で仕切られた南北2つの池（南池・北池）がある。北池からは水路が北に向かってのび、その先端は西へ折れ曲がる。
- ② 南池の規模は南北約55m、東西約65mの五角形の平面形を呈する。東岸は高さ3m以上、西岸は高さ約1.3mと高低差を意識した立体的な構造になる。
- ③ 南池の池底には石を平らに敷きつめ、池の中に中島や石積み、石造物が設置されていた。
- ④ 北池の規模は南北46～54m、東西33～36m、深さ約3m。北東隅部には階段状の施設がある。池底には石が平らに敷きつめられている。
- ⑤ 苑池の東側（宮殿側）には砂利敷の広場がある。
- ⑥ 水路から苑池の機能等を示す木簡が出土した。

調査の内容

2010年度から、史跡・名勝飛鳥京跡苑池の保存整備活用事業が実施され、今年度はその3年目にあたります。今回の発掘調査では、これまで明らかとなっていなかった南池の南岸とその周囲の構造を確認しました。

南岸は、長さ約20mで東西に直線状となることが判明しました。1～1.5mの非常に大きな石が積み重ねられており、東端は池底からの高さ3.3m以上、西に向けて低くなり西端では高さ約1.3mとなります。

南岸の中央付近で大正5（1916）年の石造物抜き取り穴を確認し、抜き取り穴の南側では石組暗渠を検出しました。石組暗渠は長さ約2.5m分が残存しており、天井石に約1.2m、側石と底石には約50cmの石が使用されています。暗渠内部は幅約70cm、高さ約15cmをはかります。この石組暗渠が石造物へ水を流すための導水施設であることが判明しました。

石造物抜き取り穴の下部では、南岸の護岸を利用した石造物を設置するための台石が検出されました。台石は上部が平坦に加工されており、上端は周囲の護岸よりも約30cm低く、石造物の上端と周囲の護岸

の高さが揃うようになっていたと考えられます。

東岸は南西から北東に直線状に延び、今回検出した長さは約30m、1m前後の大きな石が4段以上積み重ねられており、池底からの高さは3m以上と他に類を見ない構造となります。

南岸と東岸の接続部分は緩やかに湾曲しており、南池は東西南北の各辺が直線、南東・南西部分のみが湾曲する五角形となります。直線を基本とする平面形は、飛鳥時代の苑池に共通する特徴といえます。

池底には、10～30cmの石が平坦に敷きつめられています。東岸および南岸から幅2mは池底が約25cm高い段構造になり、底石は二重になっています。

東岸の南端付近では、東岸から1.8m内側に直径約20cmの柱が1本据えられていました。東岸の2.5m内側では、直径約1mの円形に底石の抜けた部分が東岸沿いに並んでいます。中島の南側や石造物の周囲でも同様に底石の抜けた部分が並んでおり、池の内部に何らかの施設が存在したと考えられます。

調査区南東の高台上では、飛鳥時代の整地土と柱穴を検出しました。調査区から南東には、苑池に関連する掘立柱建物などが位置していたとみられます。

まとめ

今回の調査により、南池の規模・構造がほぼ判明しました。特に、石組暗渠を新たに検出したことは重要で、石造物への導水方法および石造物の設置状況が明らかになりました。飛鳥京跡苑池の構造は精巧さと豪壮さを兼ね備えた、東アジアにおける庭園史の中でも例のない存在といえます。

今後も苑池の保存・整備・活用にむけて、苑池の構造の解明、さらに飛鳥京跡の宮殿との関連について調査を実施していきます。

史跡・名勝 飛鳥京跡苑池 第7次調査 (飛鳥京跡第173次調査) 現地説明会資料

2012年12月8日

奈良県立橿原考古学研究所
〒634-0065

奈良県橿原市畝傍町1番地
Tel. 0744-24-1101

<http://www.kashikoken.jp/>

(ホームページでも現地説明会の案内・説明内容をご覧いただけます)

